



# くらしの情報

## 県下一斉振り込め詐欺防止キャンペーン

今年も、晴天の平成28年10月14日（金）年金支給日に、徳島県、徳島県警察、徳島県消費者協会が連携して県下一斉キャンペーンを繰り広げた。

県下13の警察署と地域の32協会が一致協力して、配布物の袋詰め等を行い、準備万端で当日を迎えた。



キャンペーンは秋晴れのすがすがしい中、のほりを翻しながら、銀行、郵便局やショッピングセンター前で、A5版のクリアファ



イルに入れた「あなたは大丈夫!?」のリーフレットを歩行者や来客者に声をかけながら配布した。

今回は2回目ということもあり、初回よりスムーズにキャンペーンを実施することができた。

今後も行政、警察との連携を強め、こうした運動を展開し、振り込め詐欺をはじめ、悪質商法の防止に努めていきたい。

### 消費者庁等徳島誘致への協会としての対応について

平成27年12月14日（月）に消費者庁担当大臣が来県され、とくぎんトモニプラザ会議室で、徳島県への誘致について当協会も出席して、誘致の願いと必要性について、相互の理解を深める意見交換がされた。

また、12月22日に齋藤会長は、徳島県消費者協会会員が一つに結ばれた決意を盛り込んだ「消費者庁・消費者委員会・国民生活センターの徳島県への移転に関する要望書」を徳島県幹部等と上京し、消費者担当大臣と消費者庁長官に手渡し、お願いした。

その成果は、平成28年9月1日まち・ひと・しごと創生本部決定として、

- 「消費者行政未来創造オフィス(仮称)」が平成29年度に設置されること
- 新オフィスは、実証に基づく政策の分析・研究を中心とした消費者行政の発展・創造の拠点となること
- 今後3年間の新オフィスでの取組成果をもとに「恒常的な設置」や「規模拡大」について検討することが明記されることになった。

今後も、消費者庁等の移転について、徳島県消費者協会は、消費者が真に安心して、安全で豊かな消費生活を送るため、消費者行政の充実そして消費者による県勢の向上に向けて、移転を全力で応援させていただきます。

発行 ● 特定非営利活動法人徳島県消費者協会

TEL (088) 625-8285(代) FAX (088) 625-8312 E-mail nposhouhi@eagle.ocn.ne.jp



## 徳島市

去る9月29日、特定社会保険労務士 玄番芳江さんによる「マイナンバー制度」の話を伺いました。この制度を詳しく知りたいという会員の要望が多く開催しました。この制度には①面倒な行政手続きが簡単になり国民の利便性の向上②行政手続きが無駄なく正確になる③給付金等の不正受給を防止。税制度の透明性を高め公平公正な社会にという3つの目的がある。なお私達に送付されてきた通知カードからプラスチックの個人番号カードに変更した人は、まだ少数なので、利便性の面でも国はできるだけ早く変更して欲しいとのこと。そして、いつ何時でも決して電話で番号を口外することのない様、特に身近に判断能力が危い人がいたら伝えてあげましょう。

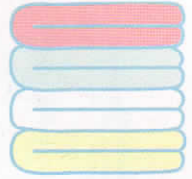
(能田みはと)

### マイナンバーカード



庭園そして内へ入って豪華絢爛さに圧倒。広い工場内では始めから終わりまでの製造工程を見学。社員は4～5名でした。タオル美術館1階から4階まですばらしいアート展でした。松山刑務所へも行き、刑務官に話を聞くことができました。受刑者は、何らかの技術を身につけて出所するので、再犯は100%に近いほどないとのことでした。帰途日本食研での昼食のおいしかった事が話題になりました。

(溝渕美代子)



## 美波町

美波町消費者協会は10月18日、森永乳業料理教室を31名の参加のもと行いました。

実習の前に講師先生の手順の説明を見聞きし、私達は3品の料理に取り組みました。

料理にかけてはさすがベテラン揃いで、手早く仕上げました。



4グループに分かれての実習でしたが、どこの班もすっぱり出来上り、試食し乍ら講師先生よりカルシウムの摂取について説明がありました。多く含まれているものに、スキนมilk、牛乳、ししゃも、小松菜等があげられた。骨粗鬆症にならないように食事に気をつけ、日光浴も大切な事、いつまでも元気で長生きすれば人生最高と思います。

(尾花 善子)

## 上板町

上板町消費者協会は9月23日56名で日本食研食文化博物館、タオル美術館、松山刑務所、大井造船作業所視察等3か所を見学。朝7時出発。少し曇っていたのですが、愛媛へ着くころ雨の心配もなく日本食研、タオル美術館に到着。日本食研 KO 宮殿工場の外観、

## 石井町

石井町消費者協会が発足して40年余になります。創立当時の先輩の皆さんのご尽力を想うと感謝の念でいっぱいです。

毎年先輩方が残して下さった加工技術に改良を加えながら会員と一緒に味噌、めんつゆ、タレを手作りしています。大切な財産として次の世代へ受け継いでいくことが私達の役目だと考えています。消費者協会は、急速に変っていく社会の中で、消費者ひとりひとりの意識の持ち方により、前向きに取り組んでいく場として主要な役割を担っていると思います。食生活だけでなく、次々と出現する消費者トラブルや環境問題に対する啓発活動を地域に広め、大きな輪で繋がり心豊かな生活を目指したいと思います。

(高橋 佳代)



## 美馬市

美馬市消費者協会は、今年も6月はゴキブリ退治にホウ酸ダンゴを、7月は廃油石けんづくりをして、作り方のレシピといっしょに会員に配りました。ホウ酸ダンゴの効果は大きく、今迄のようにゴキブリを見かけることが少なくなったと喜ばれます。又、廃油で作った石けんは布巾を洗ったり、シンクを磨いたり、靴下のつま先やかかとなどの部分洗いに重宝されます。10月26日にはEMボカシ



を作りました。これからのおいしい冬野菜づくりに役立ちます。これからも環境にやさしい活動を続けていきたいと思ひます。(仲 美智子)

## 川島町

高齢者を中心に数万人が被害に遭い、被害総額は2000億円近くと見積もられた豊田商事事件。私も被害を被った一人である。

最近、「学」の田舎でも悪質商法の被害に遭い、高齢者を苦しめる事件が起こった。

こうした被害を抑制するため、川島町消費者協会は、私の経験も生かした寸劇を皆で考えた。新作は、「腹黒騙したろ株式会社」と銘打ち、皆で和気藹々と笑いの中で作った。

「西部のつどい」では、この寸劇を披露した。人数が少ない中、一人二役を演じたが、会場からは、暖かい拍手をいただき苦勞が報われた。今後は「つどい」での発表寸劇を地域での啓発につかていきたいと考えている。(松家 久美)



## 阿南市羽ノ浦

8月21日、夏休み中の子どもたちを対象に開催された「羽ノ浦子どもフェスティバル」で、使用済みの米袋を再利用してエコバッグ作りをしました。事前に米袋を裏返し適当なサイズに切つて下準備をしておき、当日は持ち手をつけて表面に好きな絵や写真などを



8・21 子どもフェスティバル

切り貼りしました。子どもたちは親の手助けを受けながら楽しく作り、さっそくもらった景品などを入れて持ち帰りました。お金があれば何でも買える世の中ですが、ちょっとした工夫で上手に再利用できることを学んでくれたと思ひます。

(田井 和子)

## 那賀町

### 特殊詐欺防止キャンペーン

10月14日(金)那賀町消費者協会、那賀町金融機関防犯対策協議会会員、那賀署地域安全課の皆さんが協力をして特殊詐欺防止キャンペーンを行ない、那賀町の「ゆずばあちゃん」にも一役買っ

ていただきました。特殊詐欺の被害がたびたび新聞報道されていますので、金融機関を訪れる人に特殊詐欺防止等の注意を呼びかけるチラシ等を配りました。(連記かよ子)



## 東みよし町

10月14日、県下一斉振り込め詐欺防止キャンペーンをマルヨシセンターにて行いました。三好警察署から用意していただいたタスキを掛け、2班に分かれ、パンフレットを配りながら、「巧妙な手口に惑わされないよ

うに」と呼びかけました。12月10日には、マイバッグ持参キャンペーン、11月8日には、そば打ち講習会、来年2月には廃油アロマキャンドル作りを予定しています。会員の協力をいただきながら、いろいろな活動にチャレンジし、消費者協会の活動を広めていきたいと思ひています。



(元木 誠子)

## 消費者大学校OB会

当会員の平塚市議が、9月定例議会に於いて消費生活問題について質問に立つというので、4名が傍聴に行きました。主に取り組み方と課題について、「ワンクリック詐欺」「架空請求」等自身が最近経験したり調査した事を話す中で、問題を提起していました。地域で熱心に取り組んでいる人材を有効に活用し、関係機関と連携を図ることが、消費者詐欺撲滅運動を進めるなかで重要課題であるということです。今年の夏は県立図書館に毎日通い、真正面から消費者問題に取り組んだという真摯な姿を頼もしく拝顔いたしました。



(山城美三子)

阿波市産業経済部商工観光課長 藤野 芳大

本年7月25日、消費者庁の板東久美子前長官が阿波市を訪れました。

この視察は、徳島県が市町村と一丸となり、消費者庁の誘致を推進しており、7月の約1か月間、長官、幹部職員を含む消費者庁職員約40名が徳島県庁に滞在し業務試験を行うなか、県下の消費者行政の実情を視察したいという長官の希望で実現しました。

阿波市においては、市の概要及び消費者行政の説明のほか『阿波市特産品認証制度』で認証を受けた農畜産品やそれを利用した加工品の紹介、また市庁舎に併設された交流防災拠点施設「アエルワ」や、地産地消を推進している学校給食センターを視察しました。

近年、阿波市においても高齢者を対象とした特殊詐欺や訪問販売、またインターネットプロバイダに関するトラブルが多発しています。

阿波市では、福祉部門の担当者や事業所が協力して【見守り隊】を発足するなど、高齢者を消費

者トラブルから守る活動をしており、長官から「地域の見守りネットワークや相談体制の充実など、消費者庁として一層の推進をサポートしたい。」との心強いお言葉がありました。

また、学校給食センターでは新学期に向けて試作中だった地元食材を使った献立を試食しました。

食材に地元産を積極的に取り入れ地産地消を推進しており、昨年度は青果物が45.2%、米については100%が市内産であったこと、また、JAを中心とした学校給食農産物供給協議会から2か月後の生育状況を聞き取り献立に反映しているという説明に対し「阿波市は食について、高い位置づけをしていると感じた。」との感想を頂きました。

この視察を機に、消費者庁、徳島県及び徳島県消費者情報センターと更なる連携を図り、消費者トラブルの防止、食の安全等、市民が安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

### 情報掲示板

徳島県消費者情報センター

#### ●買え買え詐欺の新しい手口に注意！

「突然知らない証券会社から、『あなたの名前で大手企業の社債を購入し、代金を立て替えた』という不審な電話があった」という相談がありました。

これまでの買え買え詐欺では、「代わりに権利を買ってくれば高値で買い取る」「名義を貸してくれば謝礼を支払う」などと言って、消費者に利益になると思わせて権利や社債等を購入するよう誘導していました。

新しい手口では、「あなたの名前で社債を購入した」と消費者をあわてさせ、その後、「キャンセル料が必要」「キャンセルできない。あなたも罪になる」などとお金をだまし取ろうとします。

こうした不審な電話があった場合には、すぐに電話を切って、相手にしないようにしましょう。

(メールマガジン10月4日配信)



12月10日頃に、県下一斉マイバッグキャンペーンを行います。“お買物にはマイバッグを持参♪”毎日のショッピングにも、環境を意識した行動が求められています。マイバッグ持参は、誰でもできるエコロジー♪買物するたびエコロジー♪地球も喜ぶエコロジー♪です。皆さんマイバッグキャンペーンに参加しましょう!!

### 平成28年度徳島県消費者大学校大学院卒業式

担当理事 喜多 操子

ホテル千秋閣に於いて、8月20日より毎週土曜日計5回、環境問題、民法、経済をはじめ消費生活関連の法律、また、啓発のための実践的手法、健康体操等、熱心に学習しました。

9月17日の卒業式には、専門コース24名、実践コース18名の全員が卒業されるという快挙がありました。消費者庁等の誘致効果でしょうか。

今後、地域の指導者となられ、消費者トラブル防止等にますます活躍されることをご期待申し上げます。

